



2026 年 9 月 25 日

各 位

会 社 名 株式会社オークワ
 代表者名 代表取締役社長 大桑 弘嗣
 (コード 8217 東証プライム)
 問合せ先 執行役員経営戦略統括室長
 兼 I R 室長 郡司 雅夫
 TEL 073-425-2481

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2026 年 4 月 6 日に公表しました 2027 年 2 月期第 2 四半期（中間期）及び通期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2027 年 2 月期第 2 四半期（中間期）業績予想数値の修正（2026 年 2 月 21 日～2026 年 8 月 20 日）

(1) 連結業績予想

(金額単位：百万円)

	営 業 収 益	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1 株当たり 中間純利益 円 銭
前回発表予想 (A)	126,300	600	680	300	7.37
今回修正予想 (B)	123,227	△57	13	△187	△4.60
増減額 (B - A)	△3,073	△657	△667	△487	
増減率 (%)	△2.4	—	△98.1	—	
(ご参考) 前期実績 (2026 年 2 月期第 2 四半期)	124,448	579	670	248	6.00

(2) 単体業績予想

(金額単位：百万円)

	営 業 収 益	経 常 利 益	中間純利益	1 株当たり 中間純利益 円 銭
前回発表予想 (A)	125,600	600	250	6.15
今回修正予想 (B)	122,417	△69	△225	△5.53
増減額 (B - A)	△3,183	△669	△475	
増減率 (%)	△2.5	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2026 年 2 月期第 2 四半期)	123,667	525	167	4.05

2. 2027年2月期業績予想数値の修正（2026年2月21日～2027年2月20日）

（1）連結業績予想

（金額単位：百万円）

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益 円 銭
前回発表予想（A）	255,500	2,100	2,100	650	15.98
今回修正予想（B）	250,800	1,300	1,300	50	1.23
増減額（B－A）	△4,700	△800	△800	△600	
増減率（％）	△1.8	△38.1	△38.1	△92.3	
（ご参考）前期実績 （2026年2月期）	252,655	1,878	1,973	264	6.44

（2）単体業績予想

（金額単位：百万円）

	営業収益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益 円 銭
前回発表予想（A）	254,000	2,000	600	14.75
今回修正予想（B）	249,300	1,200	0	0.00
増減額（B－A）	△4,700	△800	△600	
増減率（％）	△1.9	△40.0	－	
（ご参考）前期実績 （2026年2月期）	251,094	1,785	213	5.20

3. 修正の理由

連結及び単体の業績予想修正の要因については、主にスーパーマーケット事業によるものであります。
（第2四半期（中間期））

第2四半期（中間期）につきましては、消費の二極化や生活防衛意識の高まりに対応すべく、来店動機を喚起する各種取組・販促施策を展開いたしました。しかしながら、物価高騰に伴う消費者の節約志向が想定以上に強まった影響を受け、一連の施策による客数・買上点数を押し上げる効果が一部にとどまり、既存店売上高が当初計画を2.3%下回ったことにより、連結営業収益についても前回発表予想から2.4%乖離いたしました。さらに、原材料価格の高騰や為替相場の影響による仕入価格の不安定な状況が続くなか、顧客支持の維持と競争力確保に向けた価格政策を推し進めましたが、荒利益率が計画に対し0.2ポイント不足し、各利益ともに期初の予想を下回る結果となりました。

販売管理費につきましては、全社的な経費コントロールや業務効率の改善により、概ね計画どおり進捗したものの、営業収益の下振れを補うには至らず、業績は前回発表予想を下回る見込みです。

（通期）

2027年2月期の業績におきましては、各種施策を確実に実行することにより、上半期からは一定程度改善すると予想いたしますが、下半期の既存店売上高は期初計画から1.0%引き下げております。

一方、販売管理費につきましては、人件費やエネルギー価格等の上昇が継続すると見込まれるものの、これらは期初計画に織り込み済みであり、さらなる業務効率化や経費削減に継続して取り組んでまいります。

しかしながら、第2四半期（中間期）における業績の下振れに加え、下半期の売上高見直し等を総合的に勘案した結果、通期業績におきましても前回発表予想を達成することが困難であると判断し、2027年2月期通期の連結及び個別業績予想を修正いたします。

※上記の予想は、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる場合があります。

以 上